議会だより
No.184
令和3年11月1日発行
埼玉県嵐山町

らんざん

パパイヤの木の前で
しかむら農園にて＝R3.9.24

令和３年
第３回定例会

傍聴者
33人

コロナ禍の決算

◆あたらしい議会構成 …… P2.3
◆一般質問10人の議員が町政を問う …… P11～21
◆議会報告会 …… P23
◆読者の声/議会だよりクイズ/編集後記 …… P26

議員が編集した手づくり議会だよりです
http://www.town.ranzan.saitama.jp/category/6-0-0-0-0.html

嵐山町議会 検索

新しい議会　人事決まる

議　長　森　一人 議員

副議長　畠山美幸 議員

議会選出監査委員　長島邦夫 議員

9月15日、議長・副議長の選挙、常任委員会委員・議会運営委員会委員の選任などの議会人事構成が決定しました。

畠山 美幸 副議長

長島 邦夫 監査委員

議長就任のごあいさつ

議長　森　一人

引き続き議長に就任致しました、森でございます。身に余る光栄とともに、責任の重さを痛感しております。今後も議長として全力を傾け、公正公平かつ円滑な議会運営に取組んでまいります。町民の皆様におかれましては、議会に対し、より一層のご理解を賜りますようお願い致します。

小川地区衛生組合議会議員（2人）

森　一人
小林　智

※嵐山町、小川町、滑川町、ときがわ町、東秩父村の5町村により組織する一部事務組合。議員定数12人。

比企広域市町村圏組合議会議員（2人）

森　一人
山田　良秋

※東松山市ほか比企郡内の7町村で組織する一部事務組合。議員定数18人。

開票結果

議長の選挙
森　一人　9票
渋谷登美子　3票

副議長の選挙
畠山　美幸　9票
渋谷登美子　3票

小川地区衛生組合議会議員の選挙
小林　智　9票
渋谷登美子　3票

比企広域市町村圏組合議会議員の選挙
山田　良秋　9票
川口　浩史　3票

総務経済常任委員会（6人）

◎大野　敏行
山田　良秋
◎狩守　勝義
渋谷登美子
松本　美子
川口　浩史

文教厚生常任委員会（6人）

長島　邦夫
森　一人
◎青柳　賢治
畠山　美幸
○小林　智
藤野　和美

広報広聴常任委員会（11人）

◎藤野　和美
○山田　良秋

議長を除く議員全員が、分科会形式で議会だよりや報告会等の事務を分担していく。

議会運営委員会（6人）

◎松本　美子
○渋谷登美子
狩守　勝義
青柳　賢治
藤野　和美
大野　敏行

各委員会　◎委員長　○副委員長

※写真撮影のためマスクを外しています。

請願・陳情の取り扱い

町政についての要望などを、請願・陳情として文書で議会に提出することができます。提出された請願・陳情は、議会運営委員会の判断のもと、審査が必要なものは常任委員会などで審査し、本会議で「採択」「不採択」などが決定されます。**請願**は議員の紹介を必要としますが、**陳情**については議員の紹介は必要ありません。

※陳情者が町内の場合、請願と同じ取扱いをします。（嵐山町議会会議規則第95条）

請願・陳情について
（町HP）

決算審査特別委員会

～令和２年度決算認定～

9月議会定例会

8月27日から9月15日までの20日間の会期で令和3年第3回定例会が開かれました。

令和２年度決算認定にあたり、議会では決算審査特別委員会を設置、委員長に松本美子議員、副委員長に小林智議員を互選し、一般会計、特別会計、水道事業会計及び下水道事業会計を４日間にわたり審査しました。活発な質疑を踏まえ慎重な審査により、原案のとおり可決しました。

実質収支に関する調書

（一般会計）

単位：万円

区分	令和２年度	令和元年度
歳　入	86億9599	68億1052
歳　出	83億2062	65億5627
差引額	3億7536	2億5424
翌年度へ繰越すべき財源	6393	2119
実質収支額	3億1143	2億3305

※コロナ禍での特別給付金事業等により歳入歳出とも大きく膨らんでいる。

一般会計の主な質疑

Q コロナ禍の税収への影響は

A **税務課**　全体への影響としては捉えられないがコロナ禍の影響による固定資産税軽減申請が56件、2596万3千円あった。

Q 地方消費税交付金が前年に比べて増加しているが要因は

A **総務課**　令和元年度は半年分であった幼保無償化に関する交付金が全額となったことが主たる要因である。

Q 特別定額給付金の対象者数と給付実績は

A **地域支援課**　対象者1万7895人に対して1万7877人に給付、給付率99・8％で転出者等を除くとほぼ全員に給付できた。

Q 集団がん検診を実施しなかった理由は

A **町民課**　コロナ禍で町民の安全を第一に考えて止むなく集団検診を中止したが、個別がん検診は実施した。

Q 篤志家の寄付によるひとり親家庭臨時特別給付金事業ができたことについて町の考えは

A **福祉課**　2回にわたって延べ246家庭に対して給付が行えたことについて大変ありがたく感謝しており給付を受けた方からも大変助かったと伺っている。

Q やすらぎトレーニングルームの運営状況は

A **健康いきいき課**　開館できたのは年間で164日、5か月半の休館となった。感染症予防のため予約制をとり人数と時間の制限を行うなど厳しい運営となったため、年間延べ4420人の利用であった。

Q 高齢者外出支援事業について予算に対して利用が低迷しているが

A **長寿生きがい課**　利用者は561人で利用額も前年実績に対しても90万円程度少ないがコロナ禍で外出を控えた影響があるものと考えられる。

Q 農業者フォローアップ事業の内容は

A **農政課**　新型コロナウイルス感染症対策として臨時交付金を利用して影響のあった酪農家やイチゴ農家などの支援にあてたほか地域経済活性化分としてコロナ禍収束後の顧客の増加と売り上げアップを応援するために直売所生産組合の平型冷蔵施設の購入補助、購買者へのサービス品費用の補助等の支援を行った。

② R2 道路改築工事（町道菅谷 31 号線）（駅西口広場地下防火水槽）

① 杉山城跡案内標識設置工事

令和２年度事業 現地調査

① 杉山城跡案内標識設置工事

② R2道路改築工事（町道菅谷31号線）（駅西口広場地下防火水槽）

③ 武蔵嵐山駅付近線路敷横断排水路修繕工事

コロナ禍の決算。

総額 86億9599万円

総括質疑

Q ふれあい交流センター窓口業務の廃止の経緯は

A 代表監査委員から町の財政状況について大変厳しい指摘があったこと、広報らんざんにて財政調整基金の状況についてお知らせするなど町では財政の状況について危機感をもっており、職員体制を含めより効率的な運営を行っていく必要があること、また町税等のコンビニ納付の普及、令和3年3月からの各種証明書等のコンビニ交付を開始したことなどを踏まえて窓口業務を廃止した。

Q コロナ禍にあって地方創生臨時交付金が交付され各種事業が実施されたがその効果と評価は

A 地方創生臨時交付金を活用した事業については、感染の拡大防止、影響を受けている地域経済や住民生活を支援することを念頭に39の事業を実施した。町管理の施設の感染拡大防止が図られ一定の効果があったと評価、また誰一人取り残さないことを念頭に事業者から子育て世代まで幅広い支援を行えた。引き続き住民目線に立って対策等を実施していく。

③ 武蔵嵐山駅付近線路敷横断排水路修繕工事

決算審査特別委員会

令和２年度決算認定
＝特別会計、事業会計＝

- コロナ禍での事業は、感染拡大の防止要請等から、多くの事業が中止、縮小を余儀なくされ、決算にも少なからず影響が見られました。
- 下水道事業会計は、今決算より水道事業と同じく公営企業会計に移行しました。

特別会計等の主な質疑

国民健康保険

Q 一般会計からの法定内繰入と法定外繰入は

A 法定外繰入金は国・県の方針により解消を図っていく方針である。令和2年は保健事業にかかる法定外繰入金があったが令和3年以降は財政主体が県に代わったことから解消していく方針である。

後期高齢者医療

Q 医療費総額と1割負担者3割負担者の人数、一人当たり医療費は

A 令和2年度の医療費総額は20億7574万7305円、1割負担者は2684人、3割負担者は148人、一人当たり医療費は73万8437円、前年度比約8％の減少、県内平均は81万1648円である。

介護保険

Q 介護保険の認定者数は

A 令和2年度末の第1号被保険者の認定者は884人で前年度より増加しており今後も増加していくものと認識している。認定率は令和3年3月で、全国18・7％、県15・8％、嵐山町15・1％であった。

水道事業会計

Q コロナ禍の町民支援として基本料金の減免を行ったが町民の捉え方は

A 直接には伺っていないが、一般家庭、事業者と区別なく実施しており、町内の水道利用者すべてに対して減免を行った。

下水道事業会計

Q 公共下水道工事の記載がないが

A 令和2年度は公共下水道工事の実施はなく、今後も川島地区の工事が始まるまでは予定していない。

特別会計

（単位未満切捨）

	令和２年度				令和元年度			
	歳入 万円	歳出 万円	差引額 万円	被保険者数	歳入 万円	歳出 万円	差引額 万円	被保険者数
国民健康保険	20億6966	20億0092	6873	4149人	20億0571	19億4657	5914	4155人
後期高齢者医療	2億3316	2億2925	391	2832人	2億2188	2億1803	385	2781人
介護保険	15億0810	13億5074	1億5736	5863人	14億0738	13億2512	8225	5791人

事業会計

（単位未満切捨）

	令和２年度				令和元年度			
	事業収益 万円	事業費用 万円	純利益 万円	戸数	事業収益 万円	事業費用 万円	純利益 万円	戸数
水道事業	4億7951	3億8732	9219	8178戸	4億8134	4億0009	8125	8036戸
下水道事業	5億9007	5億6583	2424	※5039／779	－	－	－	－

※水道の戸数は、給水戸数。下水道は、下水道使用戸数／管理型浄化槽使用戸数

令和2年度決算一般会計討論

反　対

川口　浩史　議員

新校開校準備委員会のすすめ方に強い批判があった。保護者に学校統合についてなんの説明もない中で校名を募集したことが要因だ。教育委員会はコロナ禍を理由に説明会を開くことができなかったとの理由だが、説明会が開けないのであれば本委員会を中止し、説明会が開かれるまで待つべきであったのだ。また本委員会では当時の永島宣幸教育長がたびたび発言をしていた。諮問者が意見を述べることは会議の方向性の誘導につながるものだ。さらに嵐山町立小中学校適正規模等検討委員会は地方自治法第138条の4第3項違反に当たる。諮問機関は条例により設置しなければならない、と明記されているが要綱によっての設置であるからだ。佐久間町長がストップしたことは評価しながらも、このような設置は認められないのである。

賛　成

山田　良秋　議員

現在、我が国は新型コロナ感染拡大という厳しい状況におかれています。

経済活動も鈍化し、人々は感染の恐怖にさらされ、緊急事態宣言の中、イベント開催や旅行、飲食も制限を受け、ストレスを感じつつ、コロナ前の日常の大切さを痛感しています。嵐山町の決算認定は、状況変化の兆しはあるものの、コロナ対策を避けて通ることはできないと考えます。

このような中、従前から町は町長中心に各課横断的なコロナ感染対策を精力的に遺漏なく対応してきました。更に、子育て世代・障害のある方・高齢者の方の各支援事業を評価します。そして、駅西口が空間的にも広々と生まれ変わろうとしています。今後も、町民の貴重な税金を1円でも無駄に使わない為にも既存の施策に対して勇気をもって、スクラップ＆ビルドの精神であたって欲しいと強く訴えます。

決算審査資料

賛　成

青柳　賢治　議員

1．新型コロナ感染症と正面に向き合い、町民のための各種事業が執行されました。いち早く支給された定額給付金事業、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は39もの事業に及び、事業者に寄り添った支援、コロナの影響を受けたと思われる、ひとり親家庭への特別給付金など、どの事業も歳入の目的に沿った効果的な歳出となりました。

2．コロナの感染防止を最優先する執行計画の中で相当な各種事業が縮小されました。コロナ禍にあって、町民の健康面維持のため徹底した感染症防止対策をして、やすらぎトレーニングルームを運営、らんらんポイントの見直しなどの創意、工夫がありました。

3．嵐山町の長年の懸案であります駅前西口の整備は、令和2年度において工事が進展しました。歴代の課長が地権者に寄り添い粘り強い丁寧な交渉を積み重ねての成果を高く評価しました。

反　対

渋谷登美子　議員

コロナ禍で苦しい1年でした。以下3点を指摘します。

1．消費税10％による特別地方消費税交付金は3歳から5歳の幼児教育無償化に活用です。が、町立幼稚園では3年保育の準備さえしませんでした。

2．新校開校準備委員会を設置にあたって議会議決が必要でした。地方自治法第138条の4第3項違反の委員への報償費支出は違法です。

3．令和2年度にふれあい交流センターに嵐山町正規職員を配置しないことを協議し、令和3年実施しました。見直す必要があります。

9月 議会定例会 (8月27日～9月15日)

一般会計 補正予算

補正予算 第２号

手厚い新型コロナ感染対策特別交付金
4億8284万5千円を追加

補正予算 第３号

子育て世帯に児童手当プラス1万円の給付
1430万8千円を追加

対象者 1768人

新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金 2596万3千円

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として実施された中小企業に対する固定資産税の軽減措置に伴うもの

農業者支援事業 363万1千円

千年の苑事業駐車場及び観光手芸施設に係る土地購入費等

千年の苑駐車場

介護給付・訓練等給付金事業 1957万7千円

短期入所、生活介護等の利用者の増加

小学校施設改修事業 881万1千円

・菅谷小学校屋上防水改修工事
・志賀小学校体育館トイレ改修工事

武蔵嵐山駅西口地区整備事業 1894万1千円

先行取得用地買戻し、駅西口2箇所

武蔵嵐山駅西口公有地

財政調整基金管理事業 3億7000万円

今回の積み立てで積立金残高は6億3005万円になる

会計名		補正前	補正額	補正後
一般会計		61億9111万円	4億9715万円	**66億8826万円**
特別会計	国民健康保険	17億3890万円	6826万円	**18億0716万円**
	後期高齢者医療	2億4240万円	341万円	**2億4581万円**
	介護保険	14億1700万円	1億6293万円	**15億7993万円**
水道会計	収益的収入	5億0916万円	377万円	**5億1294万円**
	収益的支出	4億8761万円	△368万円	**4億8392万円**
	資本的支出	2億7991万円	20万円	**2億8012万円**
下水道事業	収益的支出	5億7324万円	205万円	**5億7530万円**
	資本的収入	2億3260万円	221万円	**2億3481万円**
	資本的支出	2億9417万円	200万円	**2億9617万円**

議案

条例

嵐山町事務手数料の一部改正

個人番号カードの再発行業務が地方公共団体情報システム機構からの委託業務となるため。

諮問

＊人権擁護委員

町長推薦について議会の意見は適任

大澤智恵子氏（新任）

人事

＊教育委員会委員

町長任命を同意

舩戸美津子氏（再任）

＊嵐山町固定資産評価審査委員会委員

町長選任を同意

関根　盛敏氏（再任）

議案番号	議員提出議案等 ※●の網掛けは賛成討論、×の網掛けは反対討論を行いました	審議結果	小林　智	山田　良秋	狄守　勝義	藤野　和美	大野　敏行	畠山　美幸	長島　邦夫	青柳　賢治	川口　浩史	松本　美子	渋谷登美子	森　一人
発委第3号	**嵐山町太陽光発電設備の設置及び管理等に関する条例の制定について** 太陽光発電設備が、生活環境や自然環境に及ぼす影響に鑑み、適正な設置、維持管理及び撤去に関して本条例を提案する。	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
発議第8号	**「デジタル改革関連法」成立に反対する意見書の提出について** デジタル化普及は大切である。しかし、個人情報保護、基本的人権の尊重のための考えが欠落していることから、デジタル改革関連法案に反対の意見書を提出する。	否決	×	×	×	●	×	×	×	×	●	×	●	議長
発議第9号	**土地利用規制法の廃止を求める意見書の提出について** 政府の恣意的運用を可能にし、立法事実のない土地利用規制法に反対するため意見書を提出する。	否決	×	×	×	●	×	×	×	×	●	●	●	議長
発議第10号	**沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立て等に使用しないことを求める意見書の提出について** 1945年4月の沖縄戦で日本兵等の多くの方がなくなった。遺骨の入った土砂を埋め立てに使うことは、人道上許されないことから本意見書を提出する。	可決	×	×	●	●	●	●	●	×	●	×	●	議長
発議第11号	**国際人権基準に則った出入国管理及び難民認定法改正を求める意見書の提出について** 入管収容及び難民認定制度は難民申請者に対して差別的な対応をすることが事態化していることから、本意見書を提出する。	否決	×	×	×	●	×	×	×	×	●	×	●	議長
発議第12号	**コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について** 新型コロナウイルス感染症の拡大は、我が国の各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない。地方交付税等の一般財源の確保を求める。	可決	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長

可決意見書

地方自治法第99条の規定により、国（県）への要望・意見を意見書として提出することが出来ます。今定例会では2件の意見書が可決されました。

沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立て等に使用しないことを求める意見書（要約）

先の大戦で犠牲になった戦没者の遺骨が入った土砂を埋め立てに使用することは、人道上許せない。

1．悲惨な沖縄戦戦没者の遺骨等が混入した土砂を埋め立て等に使用しないこと。
2．日本唯一住民を巻き込んだ苛烈な地上戦があった沖縄の事情に鑑み、「戦没者の遺骨収集に関する法律」により日本政府が主体となって戦没者の遺骨収集を実施すること。

提出先
衆参議院議長・内閣総理大臣・他関係各大臣

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書（要約）

令和4年度地方税財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を要望する。

1．令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保すること。
2．固定資産税は市町村の重要な基幹税であり、制度の見直しはおこなわないこと。
3．令和3年度税制改正により講じられた土地に係る固定資産税の課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置を今年度限りとすること。
4．令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長を行わないこと。
5．炭素に係る税を創設又は拡充する場合、地方配分すること。

提出先
衆参議院議長・内閣総理大臣・他関係各大臣

令和３年第３回定例会　提出議案と結果（8月27日召集）

議案番号	賛否の分かれた町長提出議案等 ※●の網掛けは賛成討論、×の網掛けは反対討論を行いました。	審議結果	小林 智	山田 良秋	狄守 勝義	藤野 和美	大野 敏行	畠山 美幸	長島 邦夫	青柳 賢治	川口 浩史	松本 美子	渋谷登美子	森 一人
認定第１号	**令和２年度嵐山町一般会計歳入歳出決算認定について** 歳入決算総額は86億9599万4106円、歳出決算総額は83億2062万7685円、歳入歳出差引額は3億7536万6421円となった。	認定	●	●	●	×	●	●	●	●	×	●	×	議長
同意第5号	**嵐山町監査委員の選任につき同意を求めることについて** 長島邦夫氏の選任につき議会の同意を求める。	同意	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	×	議長

議案番号	全員賛成の町長提出議案
報告第4号	**令和２年度嵐山町健全化判断比率の報告について** 地方公共団体の財政健全化判断比率について監査委員の意見書をつけて報告するもの。
報告第5号	**令和２年度嵐山町資金不足比率の報告について** 令和2年度嵐山町資金不足比率について監査委員の意見書をつけて報告するもの。
諮問第2号	**人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて** 人権擁護委員の任期に伴い、新たに大澤智恵子氏を推薦するもの。
同意第3号	**嵐山町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて** 教育委員会委員舩戸美津子氏の任期が満了することにつき、引き続き同意を求めるもの。
同意第4号	**嵐山町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて** 固定資産評価審査委員会委員関根盛敏氏の任期が満了することにつき、引き続き同意を求めるもの。
議案第38号	**嵐山町事務手数料条例の一部を改正することについて** 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律の一部改正等に伴い、手数料を改正するもの。
議案第39号	**令和３年度嵐山町一般会計補正予算（第２号）議定について** 歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億8284万5千円を増額し、総額66億7396万1千円とするもの。
議案第40号	**令和３年度嵐山町国民健康保険特別会計補正予算（第１号）議定について** 歳入歳出予算の総額にそれぞれ6826万8千円を増額し、総額18億716万8千円とするもの。
議案第41号	**令和３年度嵐山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）議定について** 歳入歳出予算の総額にそれぞれ341万4千円を増額し、総額2億4581万4千円とするもの。
議案第42号	**令和３年度嵐山町介護保険特別会計補正予算（第１号）議定について** 歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億6293万7千円を増額し、総額15億7993万7千円とするもの。
議案第43号	**令和３年度嵐山町水道事業会計補正予算（第１号）議定について** 収益的収入に377万5千円を増額し、5億1294万3千円に、収益的支出に368万7千円を減額し、4億8392万9千円に、資本的支出に20万4千円を増額し、2億8012万円とするもの。

議案番号	全員賛成の町長提出議案
議案第44号	**令和３年度嵐山町下水道事業会計補正予算（第１号）議定について** 収益的支出に205万5千円を増額し5億7530万4千円に、資本的収入に221万3千円を増額し2億3481万3千円に、資本的支出に200万円増額し、2億9617万8千円とするもの。
認定第2号	**令和２年度嵐山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について** 歳入決算総額は20億6966万5119円、歳出総額は20億9276358円、歳入歳出差引額は6873万8761円となった。
認定第3号	**令和２年度嵐山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について** 歳入決算総額は2億3316万6285円、歳出決算総額は2億2925万2130円、歳入歳出差引額は391万4155円となった。
認定第4号	**令和２年度嵐山町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について** 歳入決算総額は15億810万7698円、歳出合計総額は13億5074万3485円、歳入歳出差引額は1億5736万4213円となった。
認定第5号	**令和２年度嵐山町水道事業会計決算認定について** 収益的収入決算額は5億2003万9705円、収益的支出決算額は4億1935万6137円、資本的収入決算額は0円、資本的支出決算額は1億3039万317円。
認定第6号	**令和２年度嵐山町下水道事業会計決算認定について** 収益的収入決算額は6億1946万4671円、収益的支出決算額は5億9765万5459円、資本的収入決算額は1億7834万360円、資本的支出決算額は2億5299万7946円。
議案第45号	**滑川町の公の施設の区域外設置に関する協議について** 滑川町の町道を嵐山町の区域に設置することに関し、協議するため議決を求めるもの。
議案第46号	**令和２年度嵐山町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について** 地方公営企業法第32条第2項の規定で、令和2年度水道事業会計決算に伴う未処分利益剰余金の処分をするもの。
議案第47号	**令和２年度嵐山町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について** 地方公営企業法第32条第2項の規定で、令和2年度下水道事業会計決算に伴う未処分利益剰余金の処分をするもの。
議案第48号	**令和３年度嵐山町一般会計補正予算（第３号）議定について** 歳入歳出予算の総額にそれぞれ1430万8千円を増額し、総額66億8826万9千円にするもの。

10人の議員が町政を問う

一般質問とは
　議員が、定例会において、町の行財政全般にわたって、町に対し疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。それにより、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させたりするものです。一人の議員の持ち時間は、質問、答弁を含めて100分以内です。

（質問順）

1 山田（やまだ）　良秋（よしあき）
質問事項
- ◆ワクチン接種について
- ◆町の表彰制度について

2 大野（おおの）　敏行（としゆき）
質問事項
- ◆むさし台交差点について
- ◆町の財産（資産）の活用を積極的にするには

3 松本（まつもと）　美子（みこ）
質問事項
- ◆高齢者の見守りについて
- ◆上水道について
- ◆下水道について

4 川口（かわぐち）　浩史（ひろし）
質問事項
- ◆不許可の盛土の対応について
- ◆通学路の安全について
- ◆園児の安全について
- ◆新型コロナ感染について
- ◆ラベンダー園について
- ◆嵐山町審議会等の会議の公開に係る傍聴要領の改正について

5 狄守（いずもり）　勝義（かつよし）
質問事項
- ◆嵐山町の災害ハザードマップについて
- ◆支え合いマップ（災害時等要援護者情報台帳）について
- ◆嵐山町「都幾川桜堤」のウォーキングコースについて
- ◆町有財産収入について

6 畠山（はたけやま）　美幸（みゆき）
質問事項
- ◆高齢者を対象とした「スマホ教室」の実施について
- ◆町民の移動手段について
- ◆広野２区に避難路開通について

7 青柳（あおやぎ）　賢治（けんじ）
質問事項
- ◆新型コロナウイルス感染症の陽性者や家族、学校施設等への支援について
- ◆嵐山町としてのテレビ・新聞報道への在り方について

8 渋谷（しぶや）　登美子（とみこ）
質問事項
- ◆気候変動抑止の政策策定について
- ◆ヤングケアラーへの対応について
- ◆コロナ感染症の福祉的対応について

9 長島（ながしま）　邦夫（くにお）
質問事項
- ◆農地の活用について
- ◆デジタル庁創設からの対応について

10 藤野（ふじの）　和美（かずみ）
質問事項
- ◆新型コロナの感染対策について
- ◆種苗法改正による町内農業者への影響について
- ◆小麦農林61号について

◆質問事項のうち、網掛け部分については、記事を掲載してあります。

山田　良秋 議員

ワクチン接種と町の表彰制度の充実

答 未接種の方の接種機会の確保に努める

コロナの終焉を強く望む

問 町の接種状況と副反応について。

答 健康いきいき課長 8月11日時点で、65歳以上の対象者が6208人で、1回目5317人、2回目5207人、町全体では、対象者1万6563人で、1回目9248人、(55・8%)、2回目6998人(42・3%)となっている。副反応は、厚労省報告では、発熱14・3%、次に倦怠感9・2%、頭痛8・3%の報告である。町では、接種後「かゆみ」「手指のしびれ」「めまい」等を訴える方がいた。

再問 ワクチン接種を2回受けた町民で新型コロナに感染した人はいるか。

再答 健康いきいき課長 2回接種後の感染者の報告はない。

問 今後の接種の見通しについて。

答 健康いきいき課長 19歳以上の方が10月4日まで、18歳以下及び19歳以上で未接種の方は、10月5日から11月15日を予定している。接種できなかった方の機会は、検討している。

問 今後の接種の啓蒙について。

答 健康いきいき課長 引き続き、該当者への通知や広報、町ホームページ等でお知らせする。

町内のワクチン接種実施の医院＝R3.9. 3

町の表彰制度

問 町の表彰制度の種類について。

答 参事兼総務課長 嵐山町表彰条例に基づき、地方自治、産業、教育・文化スポーツ、社会福祉、保健衛生、青少年健全育成、交通安全、環境及び優れた善行と幅広い分野における功績を対象とし、各課をはじめ、地域、関係団体等から推薦のあった候補者について功績表彰審査委員会において審査し、被表彰者を決定している。

答 教育委員会事務局長 嵐山町スポーツ振興基金運用基準に基づき、「功労賞」「栄光賞」「優秀選手賞」を毎年5月実施の嵐山町ヘルシースポーツ・フェスティバルと10月実施の町民体育祭において表彰している。

再問 表彰状より盾が現代の部屋の構造には適していると思うが、検討できないか。

再答 参事兼総務課長 重要な視点だと考える。今後検討したい。

再問 過去、町一番という表彰があったが復活できないか。

再答 町長 表彰規定に幅広い分野という規定がある。この規定を最大限に生かす方法もある。

大野　敏行 議員

町内の資産を積極的に活用するには

答 前向きに調査検討します

稼ぐためには何をする

問 嵐山町は自然豊かな地です。設備投資をしなくても、外部に向けてアピール出来るものがあります。
①美味しい水を販売しては。
②遠山地区を観光農園にされては。
③ラベンダー園周辺に市民農園を開設し、年間を通して人々が来てくれる居場所を作っては。
④町内に点在する竹藪の整理も含め、タケノコを販売しては。

答 上下水道課長 ①初めから販売ではなく、PRを目的とするなら、無料配布又は非常用備蓄水にするなどの方法があります。

企業支援課長 ②当地区は有効な観光地と捉えていますが、農地法・都市計画法などの法律があり、どのように活用していくか検討していきます。

農政課長 ③近隣の利用状況や町民のニーズなどの現状や課題についての調査が必要となります。

農政課長 ④農産物直売所でのタケノコ出荷者は22名と聞いています。最盛期には飽和状態になるとのことです。

再問 水田では既に有機農業の指導をされている方や畑地では外部の方たちが、かえるのピザ窯を作り活動されています。地元に働きかけるなら今がチャンスと思います。

再答 企業支援課長 トイレや駐車場も含め動向を調査します。

再問 水煮にして量がまとまれば、販売をしていただける企業があります。嵐山町だけでは量が足りないので「鳩山・毛呂山・越生・ときがわ・嵐山」5地区の関係議員で話を進めています。加工所がありません。候補地などのご支援がいただければと思います。

再答 農政課長 広域にまたがりますので、今後の調査が必要になります。

遠山地区に設置された「かえる」のピザ窯
今後の活用、活性化が期待されます＝R3.9.15

松本　美子 議員

高齢者対策に積極的な支援を

答 孤立、孤独、虐待、認知症等に取り組んでいる

安心・安全で健康寿命の向上を

問 地域包括支援センターの見守り活動は。

答 長寿生きがい課長 職員、看護師による見守り活動の実施。令和3年7月現在対象者は85人である。

問 支え合い活動の普及啓発は地域住民の協力も重要と思いますが。

答 長寿生きがい課長 近所の方の協力は不可欠である。地区でボランティアグループを立ち上げて、月1回高齢者宅を訪問している地域もある。

問 見守り協力事業者数と活動は。

答 長寿生きがい課長 協力者の内訳は、事業者85、団体11、個人5、総数101。通常の生活の中で心配な方を発見した場合に、地域包括支援センターに知らせていただく活動をしている。

問 認知症高齢者対策と認知症サポーター養成講座の現状は。

答 長寿生きがい課長 認知症カフェ、徘徊高齢者位置情報探索サービス、徘徊高齢者見守りシール交付事業などである。また、認知予防のため脳の健康教室や認知症初期集中支援事業として、自宅へ認知症専門医と医療・介護の専門職が訪問している。認知症サポーター養成講座は平成21年から55回開催して、1596人のサポーターを養成。今年度は小学5年生、中学3年生を対象に実施する予定。

ぷらっと嵐トレ菅谷8区＝R3.5.31

上水道の現状

問 県水＋自己水のブレンド水、自己水の口径別世帯数は。

答 上下水道課長 水道事業は3つのエリアに分けて配水している＝表参照。

【令和3年6月検針分　口径別世帯数】（単位：件）

口　径	自己水 第1配水エリア	自己水 第2配水エリア	県水+自己水 第3配水エリア
13ミリ	3,268	3,532	617
20ミリ	386	275	41
25ミリ	40	9	22
30ミリ	19	9	17
40ミリ	13	4	9
50ミリ	2	4	15
75ミリ	3	3	2
100ミリ	1	0	1
合　計	3,732	3,836	724

下水道の現状

問 町管理型浄化槽整備事業の現状は。

答 上下水道課長 平成24年度から500基を整備目標に10年間進め、335基の転換を図った。

川口　浩史 議員

本町には不許可の盛土があるが流失の恐れはないか

答 歩いて確認したが異常はなかった

議会傍聴は水を飲めるのに、まだまだ町は古い体質だ

問 静岡県熱海市で大規模な土砂流失が置き甚大な被害が発生した。本町では千手堂と鎌形の山に不許可の埋立てがある。両埋立て地の土砂流失を心配するが流失の恐れはないのか。

答 環境課長 両地を歩いて確認したが異常はなかった。

問 両地は町の条例により懲役又は罰金に該当すると思うが対応をとろうとしているのか。

答 環境課長 千手堂は土砂の搬出が若干あったので今後の搬出状況を見たい。告発の準備はすすめている。また鎌形は土砂の搬出をおこなう意向を示しているがコロナ禍で中断状態である。原状回復がされるよう交渉をしていく。

通学路の歩道設置状況は

問 千葉県八街市で酒酔い運転のトラックが下校中の児童に突っ込み死傷事故を起こした。酒酔い運転がいかに痛ましい事故を起こすかであるが同時にこの通学路は歩道がなかった。本町でも歩道のない通学路はどのくらいあるのか。また対策はとっているのか。

答 教育委員会事務局長 歩道も車道外側線もない道路は18・9㎞で全体の1割程度ある。幅員の狭い道路が要因である。また対策として看板を設置したり、地域の方の登下校の見守りを継続して安全を図っていきたいと考えている。

傍聴時の飲み物は飲めるようにできないか

問 町の審議会等の傍聴には飲み物を飲むことができない規定になっている。エアコンが効いていても水分補給は適宜必要だ。改正を。

答 総務課長 議事運営に支障となる行為を禁じているので改正する考えはない。

再問 水分補給でどんな支障が生じるのか。

再答 総務課長 具体的なことは思いつかない。

埋め立て当初大きなひび割れがあった＝H29.8.23、千手堂

狩守　勝義 議員

町のがけ崩れ危険指定37か所、現況に変化は

答 追加の基礎調査を実施する予定はない

コロナ禍の中、災害が起こらないことを願う

問 嵐山町の災害ハザードマップについて

(1)「土砂災害ハザードマップ」について

ア 嵐山町には急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）の危険指定が37か所、そのうちの35か所が特別警戒区域（レッドゾーン）とのことだが、現在もこの状況に変化はないか。

イ 警戒地域に住んでいる町民への周知は徹底しているか。

(2)「水害ハザードマップ」作成の進捗状況は。

答 (1)地域支援課長

ア 現時点では、県は追加の基礎調査を実施する予定はないということだ。

イ 埼玉県と町の共催で住民説明会を開催し、区域指定をしているので、住民の方には危険な箇所に住んでいるという認識を持っていただいている。また、警報発令時の対応については、レッドゾーン内20戸、イエローゾーン内7戸、計27戸の対象世帯に対し、大雨警報（土砂災害）レベル3の発令を目途に直接電話等で今後の雨量や避難所の開設等についてお知らせしている。レベル4に引き上げられた場合、電話等で直接避難指示を発令する。

(2)本年度作成予定のハザードマップは、地震に加えて、埼玉県が公表した水害リスク情報図に基づく浸水想定エリア（河川氾濫）と農業用ため池の決壊による浸水想定エリア、土砂災害警戒区域を重ね合わせた内容になっている。履行期限を地域防災計画の改定に合わせ令和4年3月25日と設定し、家庭配布は、来年3月から5月頃を予定している。

春の都幾川桜堤＝町のホームページから

ウォーキングコースに一休み用のベンチを

問 ウオーキングに励む町民が多くなった。多くの人は、「都幾川桜堤」のコースを好んで歩いているようだ。町民の「一休み用のベンチか切り株でもあると助かる」という声もある。2、3か所に置いて欲しいが、考えは。

答 企業支援課長　都幾川桜堤は、学校橋から八幡橋の間、約2㎞の距離があることから、河川管理者の東松山県土整備事務所の指導を受け、設置の方向で検討していく。

畠山　美幸 議員

社会福祉協議会主体の高齢者買い物支援の考えは

答 現実的であるが、今はタクシー券をフル活用したい

皆さんは自分で選んで買い物がしたい！

問 今年度、内容の見直しをした、町民の移動手段について聞く。

(1)現在の利用者は。

(2)地域交通を考えるプロジェクトチーム（PT）はまだ継続しているか。

(3)公共交通機関がないために、高齢者を中心とする買い物難民を町としてどのように考えるか。

答 長寿生きがい課長

(1)7月末現在、高齢者外出支援タクシー助成券の交付者数は871人。内訳は66歳～69歳は27人、70歳～74歳は112人、75歳以上は732人。延べ利用件数は7114件、利用金額は355万7千円である。

(2)令和元年6月、PTを設置し、「生活サポート事業所」は、町単独で事業の見直しは難しく、他の福祉サービスを含め総合的に検討すると結論を出している。第6次嵐山町総合振興計画策定のため実施した住民意識調査の結果も考慮し引き続き検討していきたい。最終報告は、新型コロナの感染拡大や県の「データ活用による交通ネットワーク再編事業」の報告が遅れたこと等により今年度中に行う予定である。

(3)現在は全町民を対象とした具体案はないが、PTの最終報告と県のビックデータを利用した「データ活用による交通ネットワーク再編事業」の報告書等を参考に方向性を出していきたい。高齢者については検討をしているが、新型コロナ感染症拡大により事業化が進まない。

再問 (3)九十九里町で高齢者買い物支援を社協が実施している。合わせてボランティアを募集し、車の乗降のサポートをしている。嵐山町にあっていると思うが考えは。

再答 町長　移動販売車事業の申し込みがあり支援を考えたい。また、担当課でも生活体制支援を検討しており、ご提案のやり方でスタートするのが現実的であるが、今はタクシー券をフル活用していきたい。

千葉県九十九里町高齢者買い物支援＝社会福祉協議会

青柳　賢治 議員

自宅療養者へ防災無線で支援の呼びかけを

答 直接届く可能性がある、しっかり検討する

顔が見えないから放送で

陽性者や家族、学校施設等への支援を聞く。

問 **(1)陽性者や家族への支援。**
(2)幼稚園、小中学校への支援。
(3)保育園、学童保育室への支援。

答 **健康いきいき課長** (1)町として陽性者の把握はできない。埼玉県の「自宅療養される方へ配食サービス」をホームページで周知している。家族等からの相談に応じて検討、対応する。

再問 **陽性者の把握ができないのであれば防災無線で困りごとがないか呼びかけては。**

再答 **町長** 直接陽性者に届く可能性があるのでしっかり検討する。

答 **教育委員会事務局長** (2)感染リスクの低減が図られるよう、引き続き感染防止対策を徹底する。児童生徒が感染者となり学校を休むことになった場合も含め不安を感じている子供もいるので、各学校では学級担任、さわやか相談員、養護教諭等を中心に気軽になんでも話し合える体制をつくり、相談にあたっている。

答 **福祉課長** (3)国、県の補助金を活用し、備品及び消耗品の購入や職員への手当として補助金を支出。学童保育室は8月16日より登室自粛をお願いしている。家族で体調不良の方やPCR検査を受けた方がいる場合児童の登園自粛に協力いただいている。できる限り早い段階での感染予防に努める。

嵐山町の報道 感じ、いいね

問 **町に関する報道の管理は。**

答 **地域支援課長** 担当課の判断で各報道機関へ、その後地域支援課に報告。

問 **放映予定をホームページに掲載できないか。**

答 **地域支援課長** 町民にお知らせしたい。

ラベンダー放映、嵐山の印象度アップ＝R3.6.22

渋谷登美子 議員

気候変動・ゼロカーボン宣言を

答 適宜適切な時期に宣言したい

地球温暖化で気温40度が続く生活は過酷です。

問 **IPCC（気候変動に関する政府間パネル）第6次評価についての見解を聞く。**

答 **町長** 気候の現状では、人間の影響が大気・海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がないと言い切っている。将来ありうる気候では、向こう数十年のあいだに二酸化炭素及びその他の温室効果ガスの排出を大幅に減少しない限り21世紀中に地球温暖化は1.5℃及び2℃を超えると言われている。リスク評価と地域適応では、同時多発的な変化が益々経験されると予測されている。気候変動の抑制では、人為的な地球温暖化を制限するには、少なくても二酸化炭素ゼロ排出を達成し、他の温室効果ガスも大幅に減少する必要があること。日本の昨今の気象状況から、IPCCの第6次評価報告書は納得せざるをえず、真摯に傾聴する旨値する。

問 **環境省の方針を活用し、嵐山町ストップ温暖化計画を再構築すべきだが、考えは。**

答 **環境課長** 環境省は、5年間かけて自治体を支援する予定。町は適宜適切な時期に、見直したい。

問 **嵐山町もゼロカーボン宣言し、早急に気候変動対策の確立を。**

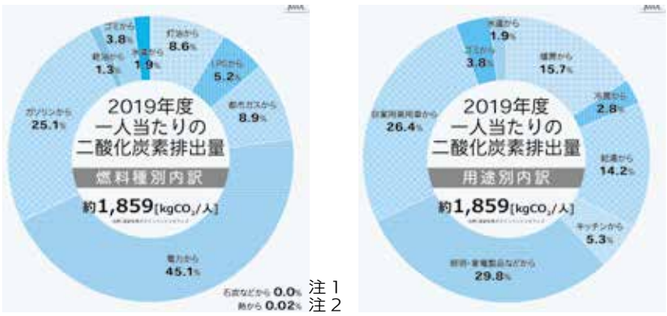
答 **環境課長** 国の取組方針、埼玉県内の自治体の動向を見極め、適宜適切な時期に宣言したい。

ヤングケアラー支援を

問 **埼玉県のヤングケアラー支援条例による事態調査では、高校生等の約4％に当たる人がヤングケアラーとして家族の介護や育児を行っている。嵐山町の実態は。**

答 **教育委員会事務局長** 現段階では調査していないため、実数は把握できていない。が、こどもの変化に学校教職員は気が付きやすいので早期に発見し、福祉サービスにつなぐ支援をしたい。

2019年の日本の二酸化炭素排出量は



出展）温室効果ガスインベントリオフィス／
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト

注1）石炭　0.0%は、数10年前家庭で石炭を利用していたが、近年利用は0。
注2）熱　0.02%は電力会社等から購入する熱に由来するものだが、利用はわずか。

長島　邦夫 議員

契約期間終了での返還か、再貸し付けとなる判断は

答 貸し手、受け手となる地域担い手の状況など、双方の意向から判断となる

秋の実り、稲穂の色づきは期待大!!

問 千年の苑は農地バンクの活用から達成できたものと思われる。今後、契約期間（10年）終了時に返還か、再度貸付か、決められると地権者は認識しているが。

答 農政課長　平成28年に鎌形地内の9・9ヘクタールを実施している。契約期間10年が終了する前に、貸し手、受け手となる地域の担い手の状況など、双方の意向を考慮して判断となる。

問 優良農地であっても未耕作地が見受けられる。認定農業者等に耕作依頼を願うが、増える耕作依頼に応じ切れない状況とも聞く。営農集団のあり方、支援等について伺う。

答 農政課長　組織化した営農集団は、生産性の向上、効率化を進めることができ、共同利用機械等の導入も国から事業費の一部補助を受けることができる。

再問 町の農地の6、7割を担う集団の弱体化は農地維持に致命的となる。観光DMOのような画期的な農業組織の構築は。

再答 町長　今後の農業活性化には法人化した農業集団の推進、育成、農業のICT化、人材育成が大変重要なポイントと考える。主眼に置きたい。

営農集団、認定農業者等の支援について

デジタル化技術の推進について

問 町においてはマイナンバーカードの取得者が拡大し、住民の方に理解されていると考える。今後の使用の変化について伺う。

答 町民課長　健康保険証利用から始まり、運転免許証情報の一体化及びスマートフォンへの掲載についても検討されている。更にマイナポータルからオンラインの申請、官民問わずの利用が想定される。

秋の実りと夕焼け＝R 3.9.13

藤野　和美 議員

保健所から感染状況が伝わらない問題は

答 県に申し入れをする

新型コロナは無症状者の発見と隔離が大事

問 新型コロナの感染が第5波となり、町内でも感染者が増え続けている。
(1)ワクチン接種の状況は。
(2)小中学校等の教職員などにPCR検査を実施する考えは。

答 健康いきいき課長
(1)12歳以上が、11月15日までに終了予定。
(2)考えていない。

再問 副反応等で2回目がキャンセルとなった方への対応は。

再答 健康いきいき課長　フォローしていく。

再問 無症状者を発見するためには検査が必要では。

再答 健康いきいき課長　陽性者が出たクラスでは全員検査をする。

再問 保健所から町に感染状況が伝わらないことへの対応は。

再答 町長　県に申し入れをする。

種苗法改正の影響は

問 種苗法が改正されたが、町内農業者への影響が懸念される。
(1)影響が出ているか。
(2)農研機構などの公的機関がつくった登録品種の扱いは。

答 農政課長
(1)大きな影響はない。
(2)同じように許諾を受けることになる。

再問 さつまいもの人気品種「べにはるか」などの扱いは。

再答 農政課長　今回の改正以前から扱いは同じ。登録品種について生産者から要望があれば、団体としての許諾権申請の支援をしていく。

人気品種「べにはるか」農研機構のHPより

小麦農林61号の取り組みは

問 町では小麦農林61号の普及に取り組んでいるが、現在の作付け面積と今後増やしていく考えは。

答 農政課長　13・5ha。乾燥調製のこともあって増やすのは難しい。

再問 嵐山産は評判が良いのでチャンスではないか。

再答 農政課長　関係者とも相談して増やせる様に検討していきたい。

再問 谷津田を利用できないか。

再答 農政課長　日陰の問題もあるが担い手と相談していきたい。

総務経済常任委員会

令和元年12月から令和3年8月までの調査研究事項まとめ

○提言事項要旨

1 災害に強いまちづくりについて

・防災計画に自主防災会を組織的に位置づけ、自主防災会の活動と役割を明確にする。

進む西口駅前広場整備＝R3.9.6

2 駅周辺10年計画について

・西口駅前広場整備だけで終わらせず、県道武蔵嵐山停車場線の再整備に早期着手できるよう、県の理解を得る最大限の努力をすること。

・工事が完成したのちには駅周辺住民の生活利便性向上を意識しつつ、多様な利用方法をアナウンスして駅利用者から満足の声が届く、費用対効果の上がる整備とすること。

・多様な利用シーンを意識し、歩行者にやさしい安全性に配慮した駅前歩行空間になるように、町道等の利用方法を創意工夫すること。

3 新型コロナ感染症対策による影響について

「コロナ禍による地域経済活性化について」

・自慢商品への特化、地産地消の徹底による地場産品の充実、消費者を今まで以上に大切にした事業経営が求められる。町民も事業者も元気になる事業の実施をすること。

4 DMOについて

杉山城現地視察要旨

●主な委員意見等

・杉山城の整備については、トイレ等の改善も工夫してほしい。

・比企城館跡郡として近隣自治体と連携をとる。

・ガイドの役割が重要。

・周遊ルートを明確化し矢印で誘導、QRコードの活用。

・どこでお金を使ってもらえるかという、戦略を持つ。

DMOの進捗状況を聞く

学校橋河原のトイレ浄化槽の整備の必要性、河川の使用料金、学校橋河原の占用等。

●説明後の主な質疑応答

Q 申請は予定どおりか。

A DMO化となる候補の申請を今年中に進める。

Q コロナ禍での営業中止の決定は。

A 町と観光協会で営業面を考えて判断している。

Q 杉山城のトイレ整備は。

A 仮設のトイレ一基、利用芳しくない、学校の屋外トイレの一般利用も考えている。

DMO化についての提言

・「風薫る嵐山」の事業コンセプトを予定される計画年数をもって確実に収益事業に仕上げ、嵐山町全体を見据えた観光発展計画を練る。

・観光協会の長い歴史の上に今日があることを認識し多くの町民及び民間事業者の協力を継続的に得ながら、多様な意見を取り入れ、嵐山町を愛する強力な観光協力体制を構築する。

・嵐山町に点在する観光資源はもちろん新たな観光資源の発掘や発見を日々研究し、年間を通して嵐山町の観光情報が発信できるように、観光協会でなくてはできない役割を果たしていただきたい。

小さいが全体像や城の技法を観ることのできる杉山城を視察。連日リピーターも多い＝R 3.7.12

文教厚生常任委員会

委員会提出条例 可決
「嵐山町太陽光発電設備設置条例」について 最終報告

パブリックコメントの検討

7件のパブリックコメント61項目について、確認し条例に修正、加筆するもの、すでに案で対応しているもの、今後の参考とするもの、意見として承るものなど項目ごとに検討した。

主な内容は

1. 維持管理に関する条例であることも明確にするため、条例名に「管理等に関する」を追加。
2. 説明会等に、必要に応じて町職員が出席する事を追加。

執行部への説明

条例施行について認識を共有するため、パブリックコメントの検討結果を反映させた太陽光発電設備設置条例案について、佐久間町長、髙橋副町長、奥田教育長、青木参事兼総務課長、藤原環境課長、杉田農政課長に出席を求め、条例作成の経緯、目的、主な内容についてパワーポイントを用いて説明をした。

担当課と施行規則について協議

環境課長に出席を求め、条例案について、例規担当の事前協議の結果及び担当課としての意見の説明を受け、条文の調整を行った。その後、策定中の条例施行規則（案）について説明を求めた。

主な協議

1. 説明会の開催について、説明会の開催を原則に、その他の周知方法を認める規定に変更する。
2. 設置及び維持管理について、規則に具体的に規定する条文とする。
3. 施行規則に、届出の審査機関として担当課の他、副町長、技監及び関係各課で構成される協議会の設置が規定される。

担当課と最終協議

環境課長の出席を求め、例規審査後の条例案と規則案について最終確認をした。

主な協議

事業者の関係書類の閲覧義務期間を工事の施工期間と明確にする。

施行規則については、運用基準等の策定等と共に施行期日以前のできるだけ早い期間に制定すること、適宜、全員協議会に説明の機会を設けることを確認した。

この委員会報告をもって最終報告とする。

なお、本条例の策定議案は、本定例会に委員会提出議案として提案し、全会一致で可決となりました。

施行期日は、令和4年4月1日です。

～町民に開かれた議会を目指して～

11/20（土）

第19回 議会報告会のお知らせ

意見交換会もあわせて実施します。

テーマ：学校再編をどう考えますか

① 午前9時～（受付：8時30分～）　② 午後1時30分～（受付：1時～）

場所：町民ホール

◆コロナウイルス感染症対策のため、定員を35名とさせていただきます。
◆感染症の状況によっては、開催を中止する場合があります。中止の場合、町ホームページ等にてお知らせいたします。
◆発熱等風邪症状がある場合、入場お断りさせていただく場合があります。
◆託児を希望される場合、11月10日(水)までに議会事務局へお申し込みください。

広報広聴常任委員会

⑴広報部会
議会だより183号発行

8月1日発行とし、主には議案審議の内容、補正予算、一般質問、各常任委員会報告、一部事務組合報告、政務活動費収支状況の全20ページの掲載となる。

⑵広聴部会
ICT調査
①議会動画配信について

・業者編集作業による動画配信と無料動画配信（ユーチューブ）のどちらを進めるかでは、費用負担が少ないと思われるユーチューブが選択される。
・議場内に定点カメラを設置し、撮影、録画したものを配信する方法もある。
・今後のユーチューブ配信では、撮ったものをそのままアップする方法が良い。
・費用対効果も重要であるが、随時視聴できることに意義がある。全体会にて最終案の意見集約を図ることとなる。

②議会無線LAN（Wi-Fi）の活用について

議員個々の使用している機器の状況については既に調査済みであり、当初はすべての方が有するスマホでの実践が適当との同意がされる。

広報広聴常任委員会＝R3.9.30

⑶広報広聴全体会
議会報告会・ICT導入について
①議会モニターとの意見交換会について

新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が発令されたため、9月定例会終了後に再検討することで意見集約される。

②第19回議会報告会の開催について

コロナ禍、社会情勢は不透明で大変厳しい時にあるが、当面は開催予定とし、9月定例会終了後に再検討することとなる。今後、オンライン開催を含めた開催要領も検討する。

③ICT、全体会最終決定について

・広聴部会で議会動画配信、音声配信、オンライン会議について調査研究を進めてきた。次の部会案について同意が得られ、今後の課題は全体会で対応していくこととなる。
・無料動画配信（ユーチューブ）が当議会には合っている。議会中継をDVDにダビングし、そのまま配信することが最良であるが、視聴専用のプロテクトがかかっており、状況によっては通信機能付き定点カメラで撮影、配信することも検討する。
・データ編集は原則として行わず、議会と事務局の合同作業で配信する。
・広聴部会では配信を前提に必要な器具、データ、人的なもの、費用面も検討してきた。これ以外に問題があったとしても議会が中心となって配信を進める。
・スマホでのズーム会議に全員が参加、試行できた。ホスト役等の課題も予想されるが、都度検討する事で同意される。

一部事務組合報告

小川地区衛生組合議会

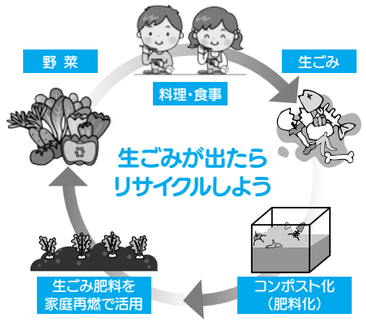
8月26日(木) 小川地区衛生組合議会が小川町議会議場において開会され、2議案が原案どおり可決された。

議案第4号
令和3年度小川地区衛生組合一般会計補正予算（第1号）
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5369万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ13億9548万9千円とする。

議案第5号
令和2年度小川地区衛生組合一般会計歳入歳出決算の認定
令和2年度小川地区衛生組合一般会計歳入歳出決算は、予算現額14億6655万6千円に対し、収入済額14億6691万4556円、収入割合は100%である。
歳出予算現額14億6655万6千円に対し、支出済額13億9322万3871円、不用額7333万2129円で執行率は95%である。

基金（決算年度末現在高）
し尿処理施設建設基金
2億7632万9千円
ごみ施設整備基金
1億3934万6千円

合計 4億1567万5千円



比企広域市町村圏組合議会

8月5日(木) 比企広域市町村圏組合議会を開会。提出されたすべての議案が採択された。

〈条例改正〉
「組合職員の分限に関する条例の一部改正」 禁錮刑に処せられ、その罪が過失によるものであり、かつ、執行猶予された職員については、情状を考慮してその職を失わないことができるようにした。

〈令和2年度決算（主な議案）〉
(1) **消防** 東松山梯子車オーバーホール4650万円、高規格救急車（2台）5566万円、弁護士費用519万円、産業医委託料13万円、研修負担金708万円
問 コロナ対策としてマスク着用していたので熱中症患者はふえたのか。
答 令和元年度が191件、令和2年度は154件であった。要因として涼しい期間があったことと搬送の総件数が減っているので熱中症患者も減ったのではないかと考える。
(2) **斎場** 火葬炉工事3億654万円、火葬棟自動ドアパニッククローズ工事238万円

すべての工事が終了し竣工式（7月18日）を実施した新しい斎場

広報広聴常任委員会（広報部会）
藤野和美・小林智・狄守勝義・大野敏行・畠山美幸・川口浩史

嵐山町でもタブレット学習が導入されていたんだと驚きました。

ワクチンの接種風景が表紙で良く分かります。関係の方ご苦労様です。

昼間は小型バスで良いのでは。経費削減になればよい。

議会だよりは、いつも丁寧に分かりやすく見やすいです。

嵐丸君の活用で楽しい紙面を。

町の将来計画は具体的な内容を町民に知らせて欲しい。

こえは要約させていただいております

次回の定例会は11月30日（火）開会の予定です。皆様の傍聴お待ちしています。
請願・陳情は11月19日（金）午後5時までに提出してください。

図書カード（千円）が当たります

議会だよりクイズ　正しいものはどれでしょう？

問1　傍聴者の人数は何人でしょう。
イ、100人　ロ、10人　ハ、33人

問2　表紙の人物はどこの国出身でしょう。
イ、スペイン　ロ、イタリア　ハ、宇宙

問3　議会だよりは何ページですか。
イ、50ページ　ロ、26ページ　ハ、13ページ

［応募方法］
ハガキに答えの記号（例　①－イ）住所・氏名・年齢を書いてお送りください。1家族1通のみを有効とします。
議会だよりの感想もお聞かせください。

［宛先］〒355－0211
嵐山町大字杉山1030－1　議会事務局

正解者の中から抽選で5名の方に図書カードを差しあげます。発表は次号に掲載します。

［しめきり］令和3年12月28日（火）まで

議会だより183号のクイズ当選者です！

応募者18人中全員が正解でした。正解は、問1－ロ、問2－ハ、問3－イ、です。当選者は次の方々です。

長島　幸人　様（千手堂）
本間　美凛　様（菅谷）
久保　幸子　様（菅谷）
落合　駿斗　様（菅谷）
野村　和子　様（大蔵）

スペインに咲くポピーの花（アンテロ氏撮影）

用語
※コンセプチュアルアーティスト：「概念上の」という意味です。「その物事が何であるかをとらえる思考」です。

編集後記

表紙の方はラトーレ・アンテロ氏、スペインバスク地方出身です。日本人の奥様と愛犬と菅谷に住んでいます。コンセプチュアルアーティストとしてのトヨタ自動車との仕事で来日しました。現在、フリーランスで様々な企業の撮影をされています。また、南青山や愛知県の展示場で毎年アート写真を展示しています。なぜ、嵐山町に居るのか、故郷の風景と似た感じとか。しかむら農園で野菜つくりに精を出しています。片言の日本語を話しますので見かけたら声を掛けて下さい。

今回、嵐山町議会は引き続き森議長に後半2年も託しました。（大野）

発行／嵐山町議会　編集／広報広聴常任委員会
〒355-0211　埼玉県比企郡嵐山町大字杉山1030-1
☎0493(62)4587